



「個人でやっているからこそ、妥協せず一つ丁寧に仕上げていきたい」と意気込みを聞かせてくれました。

この場所に工房を開きました。

藍の家の隣に小さな工房があります。千場昌克さんのアトリエです。ここで指輪やアクセサリ、金属のオブジェなどを作っています。作業場にはさまざまな道具が並び、小さな装飾品を丹念に作っている姿を見ることができました。「人が少ない場所にアトリエを持ちたかった」という千場さんは、知人の紹介でこの場所に工房を開きました。

## 金属工芸 千場 昌克



METAL CRAFT ATELIER FER  
津屋崎4-14-21(木・土・日曜日営業)  
☎090・6892・8527  
HP:https://www.facebook.com/AtelierFer

# 木・革・磁・織・金

## 「ヨソモノ展」がありました

11月21日から27日まで、津屋崎千軒民俗館「藍の家」で“ヨソモノ展”が開催されました。津屋崎を拠点に「生活を装うモノ」を製作する「他所から来た」5人の作家の企画展。

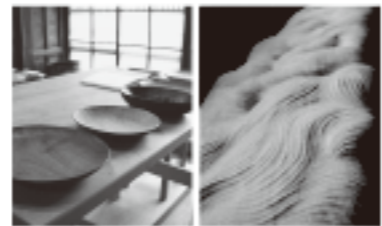
磁・革・金・木・織と、素材の異なる作品が並ぶ空間でありながら、調和した空気が漂っていました。5人のヨソモノ作家を紹介します。

▼制作中の講習会で丁寧に指導する細井さん(左)



テノ森  
津屋崎2333  
☎080・1750・7404  
HP:http://www.tenomori.jp/

テノ森では場所と道具をシェアします。木工が好きな人が集まることで、知識も共有できるような空間を目指しているそうです。また、テーブルや棚などの家具作り講習会が定期的に開かれています。講習会では、細井さんは私たちの家具作りのお手伝いをしてくれるのです。「モノづくりをする時間を取り戻して欲しい。子どもたちが自分の学校と言うように、テノ森を自分の木工房と言ってもらいたい」と優しい語り口が印象的でした。



アートとホスピタリティの関係をテーマとした彫刻をライフワークにしている細井護さんは、津屋崎に「テノ森」をオープンしました。「貸し工房」と「木工講習会」のサービスがあり、初心者から上級者まで思う存分木工が楽しめる場所です。工具が揃

## 彫刻・木工 細井 護

アトリエとホスピタリティの関係をテーマとした彫刻をライフワークにしている細井護さんは、津屋崎に「テノ森」をオープンしました。「貸し工房」と「木工講習会」のサービスがあり、初心者から上級者まで思う存分木工が楽しめる場所です。工具が揃



陶磁

## 藤吉 憲典

藍の家に並んだ器からは、上質な調和と安心感を感じることができました。藤吉憲典さんの作品です。ろくろ引きから絵付けまで工程の全てを二人でこなすことを信条としている花祭窯の藤吉さんは、佐賀県から津屋崎に移住。「宮地嶽神社から眺める参道の景色が素晴らしかった」「妻と子どもも津屋崎に来て遊ぶと、すごく元気になったからね」と津屋崎を選んだ理由を語ります。「普段の生活に使う物だからこそ、上質な物を届けたい」と思いを言葉にしてくれました。



花祭窯  
津屋崎4-8-20  
ご連絡の上ご来訪をお願いします  
☎52・2752  
HP:http://fujiyoshikensuke.com/

## 手づくり靴と革小物

## 田中立樹



cokeco atelier  
津屋崎4-39-20(木・金・土曜日営業)  
☎090・6155・6659  
HP:http://cokeco.net/

植物タンニンなめしのイタリアンレザーを使用した「上質な日用品」をつつ手づくりしている田中立樹さん。市が企画した福津暮らしの旅に、東京から参加。「津屋崎の人と自然に魅力を感じた」と移住を決意した理由を語ってくれました。「葉っぱや海の生き物などの自然が作る造形の美しさに心がひかれる」と目を輝かせる田中さんの作品には、靴やバッグの他に、葉っぱやイカの造形を生かしたセンスの良い小物も数多くありました。



loco×2 textile  
☎090・6058・5843  
HP:https://www.facebook.com/Locox2Textile

## 絹織物

## 金田 路子

金田さんの織物が藍の家の雰囲気や、さらさらとしたものに引き上げられていることは明らかでした。主に天然染色にこだわり、透明感のある深い色合いを追求している金田路子さん。津屋崎に移住した理由を「子育てがしやすく、織物の製作にも環境がよかったから」と教えてくれました。

金田さんは、「津屋崎にある天然の染料も使っていきたいです。年に数枚、自分が作りたい物を納得のできるまで作っています。手広くはやりません」と作品に対する思いを言葉にしてくれました。



みんな大好き!

# わが家の宝



いわいさこ はなの (左)祝迫 花乃ちゃん 平成 21 年 12 月 2 日生  
いわいさこ あきと (右)祝迫 哲人ちゃん 平成 18 年 1 月 30 日生  
日時野1区

とっても優しいお兄ちゃんあつくん♡おしゃべり上手で甘え上手な花ちゃん♡2人のおかげでとっても楽しい毎日です。これからも兄妹仲良くね♡



ざいかわ ゆうな 在川 裕菜ちゃん 平成 24 年 12 月 12 日生  
花見2区

ゆうなちゃん、1歳のお誕生日おめでとう。ゆうなちゃんのかわいい姿で、ますます我が家に笑顔が増えました。たくさん食べて遊んで、すくすく成長してくださいね!パパとママより

## ★募集しています★

- 広報ふくつでは「みんな大好き!わが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。
- 「〇月号に載せて」という場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。
- 誕生月など、掲載号をご指定の場合は、誕生月の前月1日までに申し込みください。
- お子さんのお名前・住所(行政区)・生年月日・お子さんのお気に入り(好きなものなんでも)に写真を添えて申し込みください。

■ 申込・問い合わせ  
市広報秘書課(福間庁舎) ☎43・8113



## TOWN TOPICS

自分との戦うこと14時間

### ボーイスカウト50km ナイトハイク



▲左から大窪裕太さん、芥川成廣さん、竹本竜太さん、百田隼さん

11月9日から10日にかけて、毎年恒例のボーイスカウト福津第1団のナイトハイクが行われました。

ボーイ隊は50km、カブ隊は20kmのコースで13時30分に宮地嶽神社をスタート。勝浦を通り宗像大社を通過して、痛む足をかばいながら古賀方面へ向かいます。鹿部を折り返す頃には大雨になり体力もほぼ限界でしたが、ボランティアや指導者のかたがたのサポートもあって深夜3時55分に無事ゴール!

踏破した子どもたちは一回り成長したように感じられました。



▲避難支援者は要援護者と共に避難してその時間を計測



▲訓練後のワークショップで避難支援者が気付いたことを発表

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

# まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎43・8113  
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

共助の精神で避難支援

### 宮司地域で災害時要援護者避難支援訓練

11月24日、宮司地区で集中豪雨を想定した避難訓練が行われ、地域住民およそ1200人が参加しました。今回の訓練は、高齢などの理由により避難に支援が必要な要援護者の避難手順の確認に重点を置いて実施。宮司3区においては、8月から3回にわたって行ったワークショップで検討した災害時の避難方法が、実際に機能するかを検証する場でもありました。

訓練後の点検ワークショップでは、避難支援者が気付いたことや反省点などを発表。宗像地区消防本部の米原分署長は「今回の訓練を通じていろいろな課題が見つかったと思います。これらを一一つ解決することが、実際に災害があった時に自分や家族、地域住民の命を救うことにつながります」と話していました。

## 市民広報 ボランティア



### おもてなしの心で生けています

市役所福間庁舎のロビーに展示されている美しい生け花をご存じですか?これは市文化協会の、主に華道協会に所属する6流派の先生がたが生けたもので、私たちを和ませています。取材した週を担当した櫻木和子さんは季節の花を自宅で丹精込めて育てていて、真っ赤な「ヒモゲイトウ」をメインに生けました。櫻木さんは「来庁者に安らいでいただければ」と温かく願います。「花の命を頂くため、花によって成長させてもらいます。」櫻木さんと同流派の目代タカ子さんは慈しんでいました。 【櫻井紀子】



### みんなで餅つき

12月1日、上西郷自治区で餅つき会がありました。自治区の行事としては初めてのことで準備や参加人数に心配がありましたが、年配のかたの熟年の経験が生かされて作業はスムーズに進みました。20キロの餅は手慣れた手つきで丸められていきます。久しぶりの顔合わせに話も弾んでとても楽しそうです。出来上がった餅は大根おろしやきな粉をまぶしていただきました。しめはつみれの野菜汁で、心も体も温くなりました。高齢者世帯が多い地区ですが、みんなで楽しめるイベントをいろいろ計画されているようです。 【福崎信一】



### 福間中学校の生徒が校庭の花植えと松林保全活動

11月6日、福間中学校の生徒が校庭の花植えと松林の保全活動に取り組みました。上級生はシルバー人材センターの皆さんの指導のもと、校門前や中庭などに花の苗を植え、手入れの仕方を習いました。下級生は歩いて海岸近くの松林へ行き、先生から白砂青松、防風林の意義などについて説明を受けた後、保全活動に取り組みました。将来、この作業が松林の成長にいかに関与しているのか分かってくれると思います。 【徳永孝志】

ふれあい交流事業(12月3日～9日は障害者週間)

盲導犬と盲導犬がいる街づくりの講演会が開催



▲盲導犬を知ってもらうために活動するPR犬のジョン君

12月8日、盲導犬についての講演会が、ふくとびあいで開催されました。盲導犬は、視覚障がい者の目となり道や施設内を安全にスムーズに歩けるように訓練された犬です。しかし、盲導犬として繁殖させた犬の中で、盲導犬になれるのは約4割。また、繁殖ボランティアや生後2カ月から1歳まで育てるパピーウォーカーなどたくさんのボランティアの皆さんの協力により盲導犬候補の犬が誕生します。

皆さん、ハーネスを付けた仕事上の盲導犬に出会ったら、触ったり話しかけたり、食べ物を与えたりしないで、温かく見守ってください。

皆さんに“福”が訪れますように

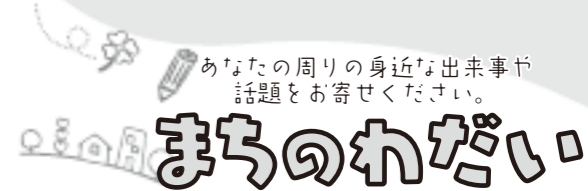
『福来い ふくろうと干支もの展』が開催されました



▲ストラップ作りに取り組む表情は真剣そのもの

“福津の極み”に認定された4人の作家が一堂に会するイベント『福来い ふくろうと干支もの展』が12月6日から8日まで、イオンモール福津で開催されました。テーマの“福”にちなんだ『フクロウ』や来年の干支『馬』をモチーフにした作品を会場にずらりと展示。買い物途中の人たちが足を止めて品定めをしていました。

また、ストラップやジェルキャンドル作りを体験できるコーナーには親子連れなどが参加。作品が完成した時の親子の笑顔が印象的でした。



勇壮で繊細 筑前琵琶

筑前琵琶演奏会

11月30日、津屋崎千軒民俗館藍の家で筑前琵琶保存会が演奏会を行いました。「耳なし芳一」や「葬られた秘密」、「鯛の婿入り」、「雪女」の4曲が奏されました。

福岡市立友泉中学校3年生の柳嶺鳳さんと横田亮介さんが「耳なし芳一」を演奏。華麗なパチさばきを披露し、会場を湧かせてくれました。

次に指導者が演奏。筑前琵琶の勇壮さと繊細な音色に浸ることができました。筑前琵琶の音色と語りの美しさに、鳥肌が立ち、心が引き締められました。

演奏後はしばらく拍手が鳴り止みませんでした。



▲左から高木青鳳さん、青山旭子さん、尾方蝶嘉さんの合奏



▲福岡市立友泉中学校3年生の柳嶺鳳さん(左)と横田亮介さんが「耳なし芳一」を演奏

チーム全員が一つになって全国大会へ

全日本チアダンス選手権大会で全国大会出場

9月に福岡市で行われた全日本チアダンス選手権大会九州予選で、優秀な成績をおさめた南里真香さん(福岡南小6年)と長田萌々子さん(神興東小6年)が11月19日、全国大会への出場を小山市長に報告しました。

POM部門ジュニアLarge編成で1位のチーム“Candy”に所属する南里真香さんは全国大会入賞を、同部門2位のチーム“Rose Honey”に所属する長田萌々子さんは全国大会でチーム最高の演技を見せることを目標に、日々練習で汗を流しています。



▲南里真香さん(左)と長田萌々子さん(右)

ふるさとに実際に触れて学ぶ企画

第11回〈津屋崎千軒〉ふるさと塾 『夕陽風景時計』と松原再生、『津屋崎干潟・浜松菜紅葉』見学会が開催されました



▲花見の松林で講師から松林の役割の説明を聞く参加者

11月21日、津屋崎千軒 海とまちなみの会の主催で、『夕陽風景時計』と松原再生、『津屋崎干潟・浜松菜紅葉』見学会が開催され、市民21人が参加しました。

マイクロバスに乗って、古賀市の中川河口海岸にある夕陽風景時計や福津市の花見松林、希少植物である浜松菜などを見て学ぶという企画。参加者は、夕陽風景時計の魅力や、松林の役割などを、講師の説明を熱心に聞いていました。

おたより  
寄せちゃってんじやい  
お便りを送ってください

自由投稿コーナー「聞いちゃってんじやい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

✂きりとり

POST CARD

お手数ですが  
50円  
切手を  
お貼りください

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ

◎ 氏名

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女

◎ ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所

◎ 電話( ) -



点線に沿って切り抜き、  
必要事項を書いて、  
必ず切手を貼って  
投稿してください。



福津市役所広報秘書課  
広報広聴係 行